

発行(年2回)
市津地区社会福祉協議会
【編集】広報部会
【事務局】市原市下野 400-1
【問い合わせ先】
0436-37-1235

むらたがわ

【問い合わせについて】
毎週月曜日・水曜日
10:00~12:00
の間に、お問合せください。
この時間以外は不在になります。

日常生活支援事業「市津まごの手」一年を振り返って
日常生活支援部会 部長 泉 敬太郎

市津地区社協では、地域住民調査を基に、昨年十二月から日常生活支援事業を開始しました。これに際し多くの支援者登録を頂き事業がスタートすることができました。ことに、深く感謝申し上げます。支援を心待ちにしていた利用会員からは、早速の申し込みがあり、冬季は室内の作業が十件、夏季は室外の作業等が六十七件と多くの依頼がありました。

「市津まごの手」では、この一年で主に次の作業を行いました。
◆部屋の掃除 ◆電球交換
◆ちよっとした水漏れ修理
◆庭の草取り・草刈り
◆庭木の刈込み
◆粗大ゴミの外だし◆その他
「市津まごの手」による支援を実施して一番うれしかったことは、作業終了後、依頼者から喜びや感謝の声を聞いた時です。これからも感謝されるよう頑張ってお参ります。

「市津まごの手」発足一周年

コーディネーター 菊池 習作

住民の生活支援事業「市津まごの手」がスタートしてもうすぐ一年になります。利用会員は三十名です。支援会員四十五名、コーディネーター一五名で運営しています。この一年間に支援の要請が七十七件と盛況になりました。

この間に、庭の草刈り、植木の手入れ、電球交換、水道修理等当初予想されていた支援に加え、池の水換え、障子張り、網戸の取り換え等多岐にわたった要請を受け、出来る事なら対応しようとの精神で取り組んで参りました。

庭の整理を行っていますと一回では片付かず、最終的には四回にわたって取り組んだご家庭もあります。集中的に人員配置をすることができず、申し訳なく思っています。支援の要請は、主に独居の女性ですが、高齢者家庭のところもあり、当初の目的が達成できているのではと感じています。これからも会員の皆様の要請にお応えできるよう努力して参ります。支援者の登録、新規会員の加入ご遠慮なくお申し付けください。

『市津まごの手』1周年



作業後



作業前



活動の様子



(上段) 中国建設銀行による、がれき撤去作業の様子



『支え合いの絆で』

災害V.C 市津サテライト

甚大な被害をもたらした台風十五号・十九号と竜巻、そして豪雨。被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

市津地区は、わずか二か月間に、今まで記憶にない災害に見舞われました。

市津地区社協では、市原市社協からの要請により、災害復興ボランティアの受入れを行うため、短期の事業所(サテライト)を下野の地区社協事務所に立ち上げ、地区内の福祉団体と共にバックアップを行いました。

十月二十日 ボランティア受入れ初日。延べ二百五名(内市津地区三十八名)

の方々が県内外より参加してくれました。中でも、中国の銀行員三十名が貸切バスで駆けつけてくれ、強く心に残りました。

各町会でも、町会長さんを中心に、安否確認・倒木の撤去や家屋のゴミ片付けが行われ、共助の有難さと絆の大切さを、改めて知らされました。

市津地区社協は、支え合う絆を地域に広げ、大切に守っていききたいと、願っています。

被災されました皆様には、一日も早く日常生活を送れますことを、心より願っています。

～みんなの笑顔のために～

賛助会費は役立っています。

賛助会員加入のお礼
 会長 丸山 喜久雄

市津地区社協が、例年お願いしております賛助会員加入につきましても、各町会長様に大変なご協力を賜り、六七八名の個人会員と町会を主体とした七団体にご加入いただくとともに、地区内の商店・企業事業者の皆様にもご加入頂くことができました。誠にありがとうございました。

納めていただいた賛助会費は、総会で決定された用途に従い、大切に使用させて頂きます。

今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げますと共に、会員各位のご多幸を心からお祈り申しあげ、お礼のご挨拶いたします。

賛助会費を活用した事業紹介① 『ふれあいサロン』

高齢者支援の一つとして、十会場で実施されています。その中の一つ、潤井戸団地いきいきサロンについて紹介します。

潤井戸団地いきいきサロンは、年六回のうち四月は「花見」十二月は「忘年会」そして年一回から二回のバス旅行を行っております。今年も、横浜三溪園の散策と中華街にて食事を楽しみました。

普段の月は約三十名の参加で女性が多いのですが、行事のある月は、五十名を超える人数になり、男性がぐっと多くなります。自治会の理解ある協力のもと、より楽しく誰でもが参加したくなるようなサロンにしたいと思っております。

【開催会場】
 ・瀬又 ・誉田グリーンヒル
 ・金剛地 ・高倉 ・小田部
 ・高田中野
 ・勝間 ・潤井戸新田
 ・喜多中央 ・潤井戸団地
 地域内の皆様との交流の場です。

是非参加して、おしゃべりしてみませんか。
 参加方法など、詳細につきましては地区社協事務所までお電話ください。

☎(37) 1235

賛助会費を活用した事業紹介② 『ふれあい買物ツアー』

交通手段がなく、日常生活の買い物に困っている方を対象に、自宅近くまで送迎する買物ツアーです。

・第二木曜日(ちはら台せんどろ) 第四木曜日(辰巳台マックスバリュ)

毎回三十名前後の参加者です。バスの中での、近隣の方のおしゃべりも楽しいひと時です。随時登録受付をいたしますので、地区社協事務所までお電話ください。

☎(37) 1235

賛助会費を活用した事業紹介③ 『市津ひよこクラブ』

市津ひよこクラブは、お母さん同士の交流と子育ての不安を少しでも和らげられるための支援を目的に、市津公民館との共催で年九回実施しています。



関連団体活動紹介

『子どもたちの笑顔を見た』

青少年育成市津地区民会議会
 会長 深山 均

地域の子どもは地域で育てる、そんな思いから登校する子ども達に市東第一小、湿津小の正門で「おはよう！」と大きな声で挨拶する、挨拶運動がスタートしました。

既に四日間実施し、子ども達と地域との距離が、一段と縮まったように感じます。今後も毎月二日間実施予定です。

地域の皆さん、子ども達と会ったら大きな声で挨拶をお願いします。

挨拶運動の様子



『子育て家庭支援員とは』

市原市子育て家庭支援員協議会
 市津支部長 根津 順子

子育て家庭と地域・行政とをつなぐパイプ役として、地域に根差した子育て支援活動を行う制度ボランティアです。

現在市津地区では、九名が市長から委嘱を受けて活動しています。

活動内容

○乳児家庭全戸訪問事業

概ね4ヶ月になるお子様のいる家庭を訪問

し子育て支援関連の情報提供

○市原市子どもフェスタ

一日限りの手作り遊園地

○各種子育て支援事業

市津公民館などで開催

～ 福祉バザー 売上報告 ～ 合計 607,273円

急な会場変更にも関わらず、多数の方のご協力ありがとうございました。

※ご協力いただきました売り上げにつきましては、市原市社会福祉協議会を通じて歳末見舞金・地域福祉支援事業として、活用されます。



賛助会員企業・商店 (順不同) 2019年11月30日現在

- (有)市津工業所 / (株)長尾製缶所 / そばぐるめ きたこま
- 潤井戸ヘブンホール / たまごの駅 / 加藤畳店
- (有)潤井戸タクシー / みかど化工(株) / 栄倉板金
- (有)八幡屋 / 日本リノ・アグリ(株)
- 社会福祉法人 市原うぐいす会 グリーンホーム